

# 発掘 トップ企業

「社名の由来ですか、あの写真をご覧下さい」。社長室の壁を松尾正男社長が指さす。そこにはハワイのダイヤモンドヘッドと波が寄せるビーチの大きな写真が飾られている。ダイヤ工業(岡山市)の社名はダイヤモンドヘッドから採ったという。

## 自社製品1000種超

医療用品を製造販売する同社の主力は、コルセットやサポーター。なかでも接骨院・整骨院向け

## コルセットとサポーター ダイヤ工業 (岡山市)



逆締め構造が特徴の腰部サポーター「バッククロスミドル」

### 〈会社概要〉

▽本社	岡山市南区古新田1125
▽創業	1963年
▽代表	松尾正男氏
▽売上高	36億5000万円 (2016年3月期)
▽従業員	113名 (16年4月現在)

# 腰を支える構造と縫製

では、「全国の約4万5000のうち3万の施設と取引がある」(松尾社長)「トップメーカーだ。に耳を傾け、工夫を凝ら腰痛用のコルセットや膝、足首、肘、手首、手指向けサポーターなど自社製品は1千種類を超え

「全国約4万5000のうち3万の施設と取引がある」(松尾社長)「トップメーカーだ。に耳を傾け、工夫を凝ら腰痛用のコルセットや膝、足首、肘、手首、手指向けサポーターなど自社製品は1千種類を超え

逆締め構造が特徴の腰部サポーター「バッククロスミドル」

バッククロスミドルは背部を中心に左右から寄せるように締める逆締め構造にした。これにより、腹部に余分な圧を加えずとも、わずかな力で背部をしっかり固定しサポートできるという。

厚生労働省によると、腰痛に悩まされている日本人は約2800万人。1963年にイ草のサンダル生産から始まった同社にとって、「医療用品は将来性が感じられる市場」(松尾社長)だ。前身の「ダイヤゴム工業」を現社名に変更した65年からは、女性用バッグ製造の下請けが主力だった

が、84年に腰痛コルセットの製造販売を始めた。

## 接骨・整骨院の声聞き工夫

きっかけは松尾社長の身で助けるものだ。義父、松尾隈男先代社長の姉の腰痛だった。病院で作った腰痛コルセットは幅が広く固い。そこで、幅を狭める改良を施すととても喜んでくれた。バック製造で鍛えた縫製技術に自信はある。当時に注目した竹中工務店の売上高の7割を占めていた、バック製造の取引先の倒産も後を押しした。用途は広がる一途だ。

創業40周年の02年には介護用品分野に進出。2009年には全身タイツ型のサポーター、筋肉スーツ「ターウィン」を発売した。腰・膝・肘・肩・足首など体の各部に動くサポーター技術の一つのスーツに組み込み、体の様々な動きを全

中

国

支局

岡福広

山山島  
00882-2244  
08841-9324  
641-2321  
2251-3115  
20745  
715

山松島

取取  
00882-2212  
08852-2119  
331-9221  
221-1166  
7